

海上からみた多島海景観分析

- 鞆港～松港 -

日本大学 学生会員 西塚 泰道
日本大学 学生会員 高橋 寛之
日本大学 正会員 鳶田 真一
日本大学 正会員 伊東 孝

1 はじめに

瀬戸内海はむかしから畿内と大宰府、さらには大陸を結ぶ海上交通の重要なルートであった。現代では海上交通より陸上交通の方が活気づいている。瀬戸内海には多数の島があり、海上からの眺めは独特な景観を構成している。むかしの人は瀬戸内海の美しい景色をながめ、海のネットワークを利用しながら、港町の交流をはかっていたにちがいない。

今年の8月、私たちは船をチャーターして、広島県福山市鞆の浦から愛媛県松山港までの航海を試みた。瀬戸内海の海上からの独特な眺めにおいて、どのような景観が注目を集めるのかを知るため、航海途中でながめた多島海景観のアンケート調査をおこない、分析した。

2 調査方法

平成14年8月9・10日の両日、航海を共にした10の方に船上での景観アンケートをお願いした。アンケートは、大きく3部で構成され、第一が「入港・出港時の間」で、4箇所（鞆・御手洗・下蒲刈・釣島）について、船から見てどのようなものが印象に残るかを聞いた。第二は、港から港の移動中に写真撮影をお願いした。第三は回答する・しないは回答者にまかせたが、設問が一番多く20もあった。20の設問は、景観のなかで際だったもの、目だつもの、気になるものまた鞆港との比較などを聞いている。第一・第二とも、複数回答とした。

設問内容を整理すると以下の9つになる。

- 1) 入港時・出港時に印象に残った 対象物。
- 2) 港周辺の景色の中で新たに際だったもの。
- 3) 港間で何か目だつもの、気になるもの。
- 4) 港に着く際、最初に何に目がいったか。
- 5) 港全体を見渡して何が一番目だったか。
- 6) 鞆港とどんなところが違うと感じたか。
- 7) 鞆の雁木とくらべて違うか。
- 8) 鞆では見ることのできない新たな発見があったか。
- 9) 港を去る際、何が一番目だったか。

3 分析方法

3-1 アンケートの分析方法

キーワード 鞆の浦 多島海景観 KJ法 瀬戸内海
連絡先 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1

アンケートの分析方法としては、川喜多二郎氏が発案したKJ法を用いた。全ての設問に対しておこなった（図-1）。

3-2 分析結果

図-2～4は、KJ法のA型図解法を用いて、アンケートを図解したものである。アンケートには28個の設問があり、すべてを載せることができないので、～までの設問を載せた（図-2～4）。

鞆～御手洗間で何か目だつもの、気になるもの。
御手洗～下蒲刈間で何か目だつもの、気になるもの。

下蒲刈～釣島間で何か目だつもの、気になるもの。

図解した結果をKJ法B型で文章化してみると、次のようになる。「鞆～手洗間で見た船からの目線は、他の港間より、開発された新しい家々のかたまりをみている。また集落が大きいので、島の人工物が目だっていたと考えられる。初めの出港地である鞆では、家々の間に樹木があるため、かたまって見えたのではなからうか。修理中の灰色の船が、そのような場所にあったため、目だった。また航海途中ですれちがった海砂採集船が目だっていたと考えられる。」（図-2）

「御手洗～下蒲刈間では、大きな島が無くなり、無人島の多さが目につく。またはげ山が目だつ。そのような中でも、島並みの緑が濃く、異常にとんがった山や異常に丸い島のコントラストがあった。多島海における眺めの特徴であると考えられる。また小さい集落が点々としている様子や、上蒲刈の土取り場といっ

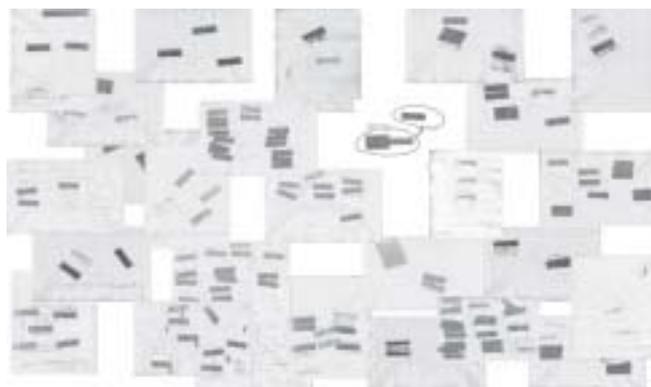


図-1 KJ法（全設問）

たようなものが目だち、島を見たとき見られたものなので、島を表す単語と関連していると考えられる。またイリコ舟・砂利り船の存在が気になっていたと考えられる。」(図 - 3)

「下蒲刈～釣島間で、乗船者が気になった対象として、多島海における全景・海面・海にある人工物という分類ができると考えられる。直線的で殺風景すぎて味気なく、雨が降っている場所が見え、海を見るとゴミが多すぎて、その海で漁をする小さい漁船群団と行きかう船が気になり、目だっていたと考えられる。」(図 - 4)

図 - 2 は、人工物に目が向いているという特徴がある。図 - 3 は、多島海における景観の特徴の島・海・船という単語がでてきており、また、瀬戸内の景観として思い浮かべられるようなものになっている。図 - 4 は、下蒲刈と釣島間のことであるが、多島海における島がなく、あまり評価が良くない。これは中国地方から四国方面へ、船が下へと移動しているため、まわりに島などの景色が見られなかったためと思われる。



図 - 2 KJ 法図解 (鞆～御手洗)



図 - 3 KJ 法図解 (御手洗～下蒲刈)

4 おわりに

今回 10 人の人たちのアンケートを読むと、多島海景観において、全体をとおして必須単語である「島」「島並み」などの単語の出現頻度が予想より少なかった。これは、航海途中の眺めが、島・海・空という単調な景色が続く中で人工物が現れると、むしろ人工物の方が目だつと考えられる。ただ、その人工物が良いと判断したのか、またはあまり好ましくない判断したのか、はっきりしない回答もあった。今度アンケートをとるときは、化できるようなアンケート設計をおこなわねばいけないと思った。

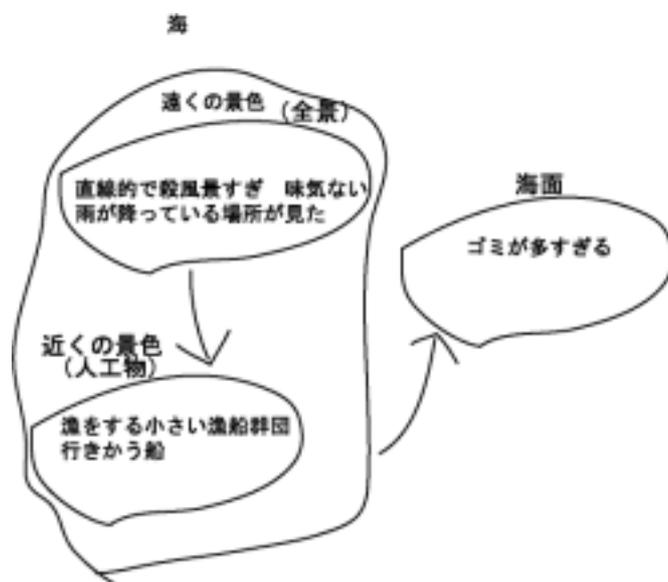


図 - 4 KJ 法図解 (下蒲刈～釣島)



図 - 5 鞆



図 - 6



図 - 7 下蒲刈



図 - 8 釣島